

はじめにお読みください

プロセッサ・アップグレード取扱説明書

- 本体装置の使用の手引をよくお読みになり、正しくお使い下さい。
特に安全に関する注意事項はご使用前に必ず読んで正しくお使い下さい。
- 使用の手引は大切に保管してください。

1. 作業の前に

増設作業の前に以下の製品構成要素が揃っていることを確認してください。

- ・ Pentium[®] Pro (200MHz・512KB cache)CPU 1 個
- ・ ヒートシンク (ファン付) 1 個
- ・ VRMカード 1 個
- ・ 取扱説明書 (本書) 1 部

2. 概要

プロセッサ・アップグレード (B4951-4) は、三菱 PC サーバ apricot シリーズの本体装置のアップグレード用 Pentium[®] Pro (200MHz・512KB cache) プロセッサです。

⇒ 本増設プロセッサの本体装置への導入の際には、以下を参照してください。

- ・ 本体装置付属の使用の手引

3. 注意事項

3.1 増設プロセッサの本体装置への取り付けに関する注意事項

- ・本増設用CPUの本体装置への取り付けは「販売会社または保守担当会社(メルコムサービス等)」のサービスマンにより実施してください。
- ・本体装置の電源を切って本増設作業を行ってください。
- ・本増設用CPU, VRMカードは静電気によって致命的な損傷を受けることがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- ・付属のファンはCPUボードのコネクタに接続しファンが回転することを確認してください。
(FT2200のみ適用)
- ・作業完了後はPOSTのメモリテスト終了後に以下のメッセージが出ることを確認してください。
(FT2200のみ適用)

シングル・プロセッサのアップグレードの場合

01 Processor(s) in System.

The BSP CPUID=617

デュアル・プロセッサのアップグレードの場合

02 Processor(s) in System.

The BSP CPUID=617

The 2nd CPU initialized successflly, CPUID=617

- ・取り外したCPUと未使用の付属のVRMカードは、大切に保管してください。

3.2 その他の注意事項

- ・本取扱説明書と付属の説明書の記述が異なる場合は、本取扱説明書を優先してください
- ・本体装置をデュアル・プロセッサとして使用する場合は、本装置(B4951-4)が二つ必要です。
(FT2200のみ適用)

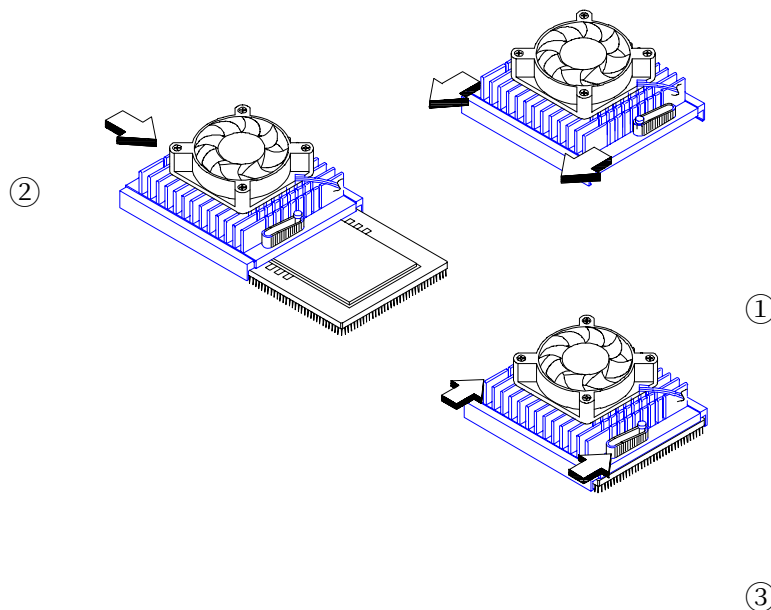
4. 増設プロセッサの取り付け

4.1 ヒートシンク（ファン付）の取り付け(FT2200 のみ適用)

増設プロセッサの取付作業は、必ずCPUにヒートシンクを取り付けた後実施願います。

以下の手順にしたがって増設プロセッサにヒートシンクを取り付けてください。

- ① ヒートシンクのロックを解除します。
- ② ヒートシンクのレールを以下のイラストのようにスライドさせ、ヒートシンクをPentium® Proプロセッサに取り付けます。完全にPentium® Proプロセッサにかぶせます。
- ③ ヒートシンク側のロックをスライドしCPUを締め付けてから、CPUとヒートシンクをしっかりと一緒に持ちます。



！メモ

- ・ CPUのピンを曲げないように注意してください。

4.2 シングル・プロセッサのアップグレード

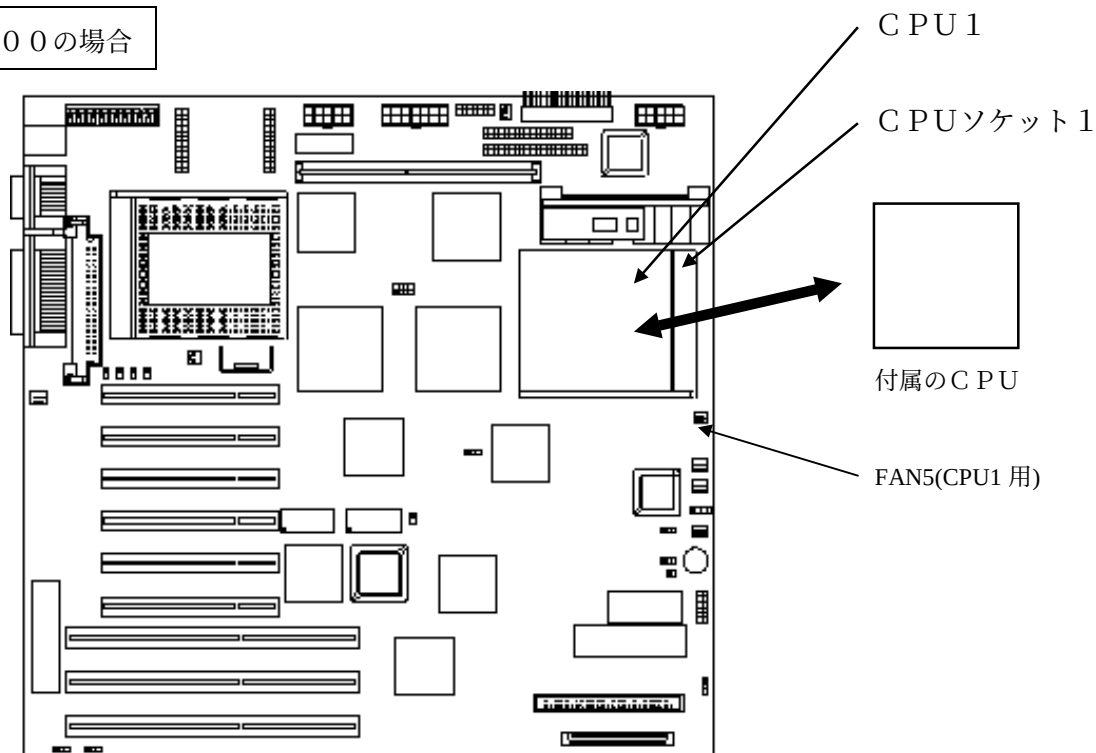
標準構成の Pentium® Pro (200MHz・256KB cache)を Pentium® Pro (200MHz・512KB cache)へアップグレードします。

下図に示すシステム基板上に標準構成されているCPU1を本製品に付属CPUと取り替えてください。

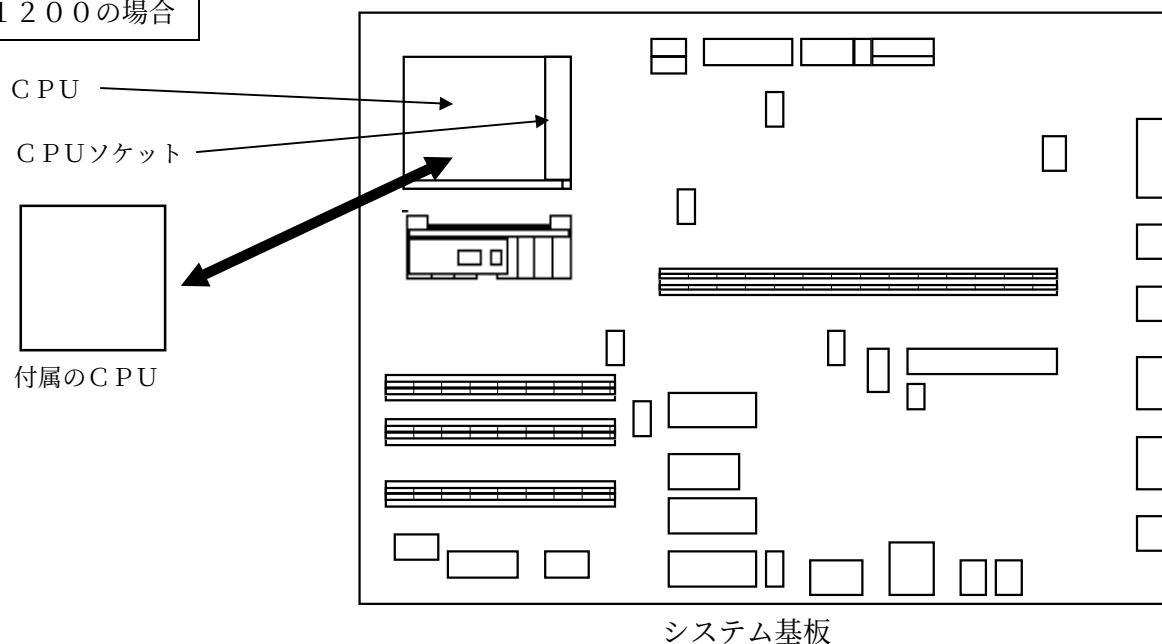
シングル・プロセッサのアップグレードの場合は、新たにVRMカードを取り付ける必要はありません。付属のVRMカードは大切に保管してください。

CPUの取り外しかた・取り付けかたについては、『4.4 CPUの取り付け』を参照ください。

FT2200の場合



FT1200の場合



4.3 デュアル・プロセッサのアップグレード(F T 2 2 0 0のみ適用)

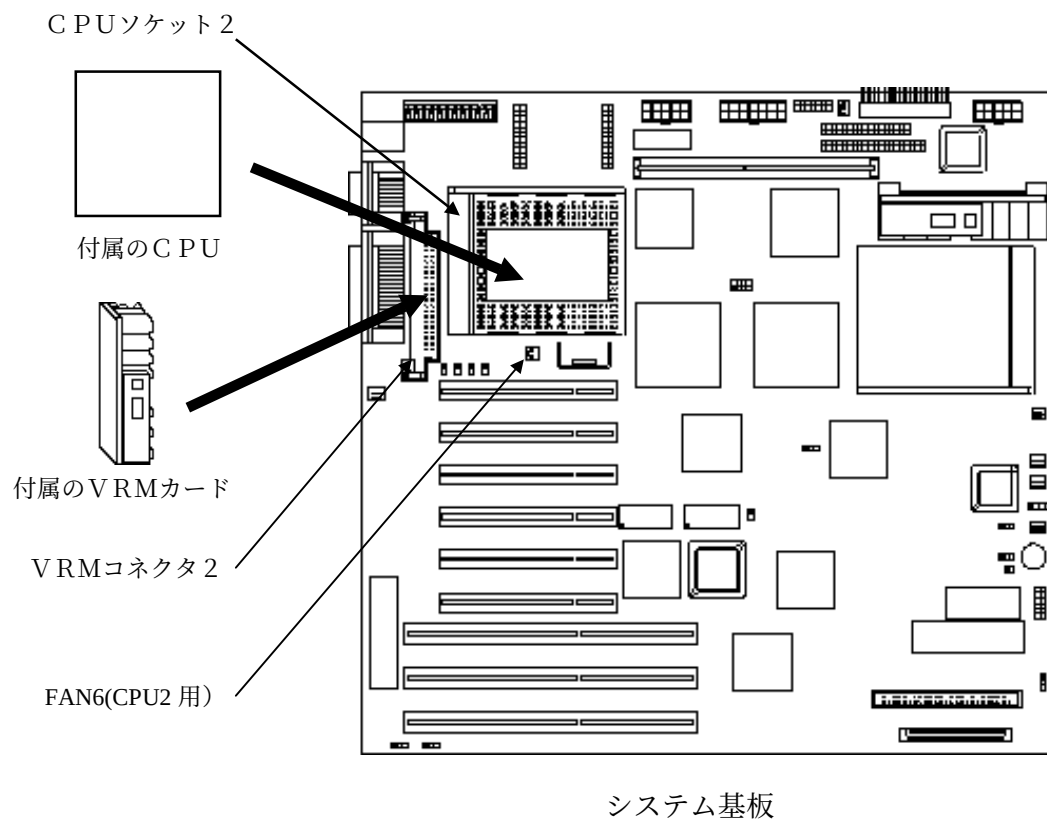
本アップグレードの前に『4.2 シングル・プロセッサのアップグレード』を行ってください。

下図に示すシステム基板のVRMコネクタ2に付属のVRMカードを、CPUソケット2に付属のCPUを取り付けてください。

取り付け後、確実にVRMカードがコネクタにロックされていることを確認してください。

CPUの取り外しかた・取り付けかたについては、『4.4 CPUの取り付け』を参照ください。

既に“増設Dualプロセッサ(B4951-3)”によりデュアル・プロセッサにアップグレードされている場合は、『4.2 シングル・プロセッサ』と同様に取り替えてください。この場合は、新たにVRMカードを取り付ける必要はありません。付属のVRMカードは大切に保管してください。



4.4 CPUの取り付け

システム基板のCPUソケットはZIF（Zero-Insertion Force）CPUソケットになっています。

以下の手順でCPUを取り付けます。

また、CPUを取外す場合は、逆の手順で取外します。

FT2200の場合

①CPUソケットのレバーを持ち上げます。

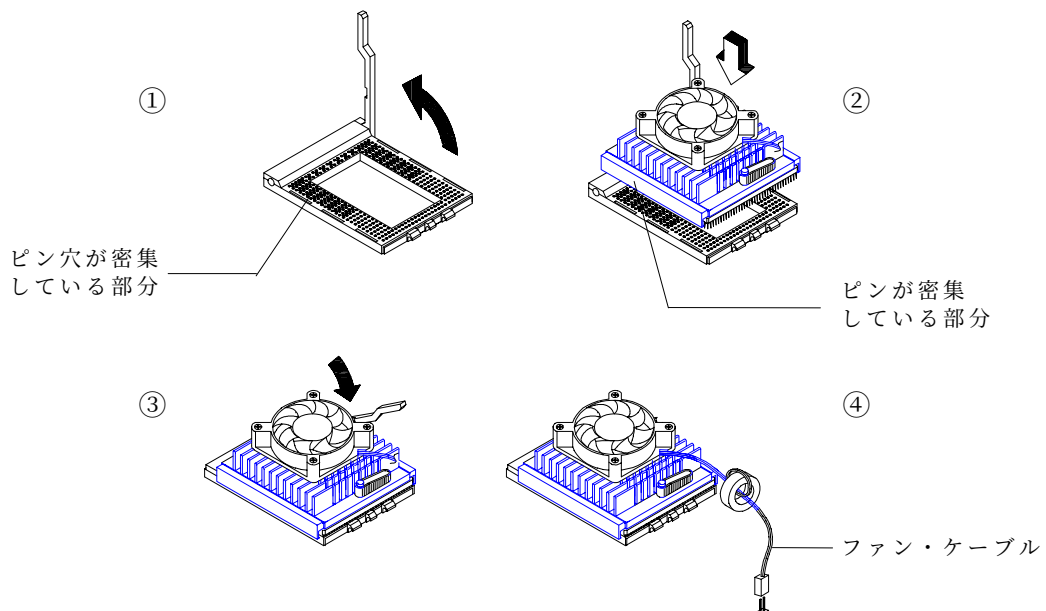
②CPUの下面を見てピンの密集している部分に注意します。CPUのピンが密集している部分をソケットのピン穴が密集している部分に合わせ、ていねいに差し込みます。

！メモ

・CPUのピンを曲げないように注意してください。

③ソケットのレバーを降ろします。

④CPUのファン・ケーブルをシステム基板上のコネクタFAN5（CPU1用）、またはFAN6（CPU2用）に接続します。



①CPU ソケットのレバーを持ち上げます。

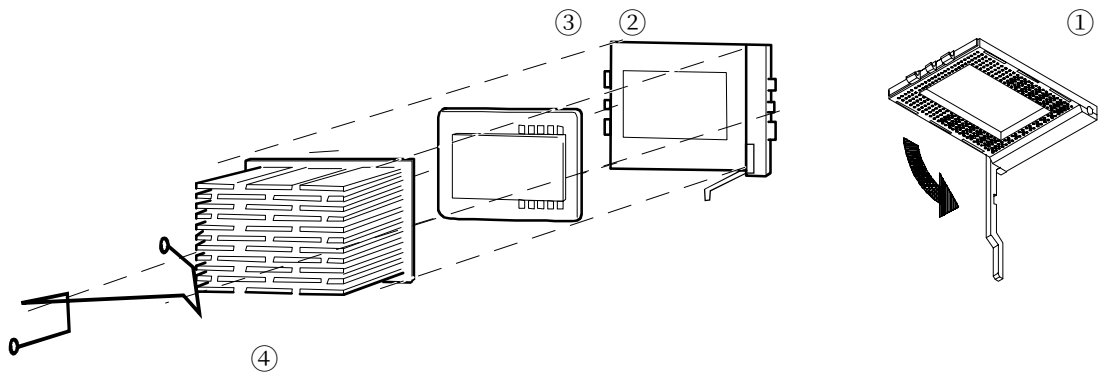
②CPU の下面を見てピンの密集している部分に注意します。CPU のピンが密集している部分をソケットのピン穴が密集している部分に合わせ、ていねいに差し込みます。

！メモ

・ CPUのピンを曲げないように注意してください。

③ソケットのレバーを降ろします。

④本体に付属のヒートシンクを固定金具でCPUにしっかり取付けます。



5. 商標

Pentium[®] Pro はインテルコーポレーションの登録商標です。